

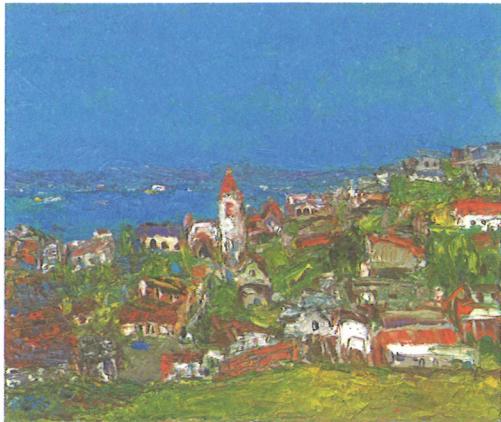


2017-2018

## KAWANOUE WEEKLY

H. 29. 12. 5

No. 22



「白い塔のある風景」 油彩 谷 晶子

ロータリー：  
変化をもたらす2017-2018年度国際ロータリー会長  
イアン H. S. ライズリー

- 会長 宇高光重  
■幹事 石川豊和  
■会報委員長 三木秀二  
■例会日 毎週火曜日 12:10~13:10  
■例会場 四国中央商工会議所  
電話 58-3530  
FAX 58-6294  
■事務局 四国中央商工会議所  
電話 58-3530

## ヒマラヤを見て来ます!!

宇田 正

いつもながら、RC週報に相応しからぬ私事のテーマでお許し下さい！！

ヒマラヤをこの目で見てみたい！と思うようになったのは、深田久弥「ヒマラヤ登攀史（初版1957年）」が私の愛読書になってからですから、40年ももっとも前のことになります。

ヒマラヤへの憧れを持つきっかけは存命なら90歳の母方の叔父・高橋宏が私の学生時代（昭和42年過ぎ）、深田久弥「ヒマラヤ登攀史（1957年初版）」、楨有恒？「チョゴリザ登頂記」や川喜多二郎「ヒマラヤ探検記」「発想法KJ法の展開と応用（1967年）」等の本を頂き、1956（昭和31）年、日本隊によるマナスル初登頂の話を聞かされたことに始まります。

戦後復興も覚束ない昭和20年台末年の日本で、後世のためにヒマラヤ14座の内、せめて1座でも日本として初登頂の栄冠を手にしておきたい！！については、未踏峰・マナスルの初登頂を日本隊によって実現しようと、心ある先人が計画し、激しい登頂争いの末、1956（昭和31）年に日本隊・今西壽雄によって成し遂げられた壯挙なのです。

まさに、敗戦の傷が癒えない日本が欧米列強に伍して、日本人としての気概を示した一大事績と言え、日本山岳会が成し遂げた金字塔です。

そのようなことを当時、叔父から聞いていると、日本もやるモノだ！と二十歳の私も感動したモノでしたが、1971（昭和46）年に卒業と同時に就職した前職の独身寮には大学時代山岳部で鳴らした先輩どもが多数おり、寄ると触ると酒を片手にスキーや山、そしてヒマラヤの話になり、ヒマラヤへの憧れがさらに膨らみました。

彼らや叔父からも良く聞かされた登山やヒマラヤの話と大した山岳写真（集）も少ない中でヒマラヤ登攀史に載っているぽんやりした14座の写真と書かれている情報や線描きの山岳地図、これら数少ない情報をたくましくイメージし、神々の座と言われる8千メートル以上14座（世界広いえども8000m以上の高峰はアジアのネパール、中国、インド、パキスタンの国境地帯の山脈であるヒマラヤ以外には無い）の山容やその佇まいをイメージしながら、ヒマラヤ・バーチャル登山を楽しんでいました。

さて、私は29歳で前職を辞し、LIVEDO（当時はトーヨー衛材）に入社するとともに結婚しました。独身時代（20代）は先述の様に（前職の）社内には山好きの連中が沢山いたので、彼らに誘われて色々と山行きましたが、私自身は気まで、仲間と大きな荷物を持ってテント泊まりのしんどくて、ロッククライミングや冬の危険が伴う登山は断り、次第に時候の良い夏山、山小屋泊まり、北アルプス中心で二泊三日程度のトレッキングに毛の生えたような手軽な登山を単独行するようになりました。

単独行なので、思い立ったらその週末に大阪から一泊ないし二泊の山小屋泊まりで手軽に行ける穂高連峰や槍ヶ岳、剣岳、立山や後立山他、北アルプス等が私のお気に入りの山になって行きました。それらの高山や岩峰を目の当たりするとその空に向かってそそり立つ姿や、人を寄せ付けない神々しさ、峻厳さに一人興奮してしまうのでした。

だから私のワンゲル（登山の）知識ははじめのうちに彼ら登山仲間との山歩きから得たモノと単独行・我流で身に付けたモノであるため、曖昧で偏ったモノですが、結婚してすぐ新婚旅行よろしく、しんどい山歩きは余り好きじゃないと言う女房を無理やり説得して、一泊二日で上高地・河童橋から涸沢、ザイテングラード、涸沢岳、穂高岳山荘で一泊して、奥穂、前穂を登って、岳沢下りで帰って来るという登山計画を立てました。

行く前にまわりに言うと、多くの人から顰蹙を買ったのですが、素晴らしい山々（穂高や槍）を女房にも見せたい！！その一心でした。それに、初心者の女房の事を思うと行ける所まで行ってダメなら途中で引き返せば良い等と高をくくっていたのですが、実は案に相違して心配していた女房殿はタフで元気！それに反して先輩ぶっていた私は何だかへばって顎を出す始末、この山行ぎですっかり私の山男ぶりに味噌をつけ、面白をなくしてしまいました。

そのうち、仕事が忙しい事も有りましたが、以来、山行きのことを考えると鼻白み、情熱が冷めてゆきました。（最近は、36歳の息子が私と同じような登山に嵌ってます）

しかし、昭和も50年代になると郷里が生んだ山岳写真家の高橋毅先生や白川義員先生等多くの山岳写真集が発売され、ヒマラヤへの憧れとそれを見たいという（観光登山？！）想いだけはかえって膨らんで行きました。

<次号に続きます。>

# 第2731回 例会記録 H. 29. 11. 28

## 出席報告

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 1. 出席会員（51名中） | 36名                        |
| 2. 当日出席率      | 72.00%                     |
| 3. 来賓（卓話講師）   | 日本ツツジ・シャクナゲ協会理事<br>藤原 勝壽 様 |
| 4. 前々回補足修正率   | 96.00%                     |

## 会長の時間

- ・インドネシア出張に行って

## 委員長の時間

- ・出席報告 出席委員長 宇高 尊己 会員

## 会務報告

1. 國際ロータリー日本事務局経理室  
2017年12月ロータリーレート  
(1ドル=112円)
2. 認定NPO法人国際地雷処理・  
地域復興支援の会 高山良二様  
カンボジア便り
3. 四国中央ユネスコ協会  
2018四国中央ユネスコカレンダーご  
案内
4. 2017年11月・12月 近隣クラブ例会の  
お知らせ（出席委員会）

## ニコニコニュース

宇高光…先週、木曜から日曜までインドネシアに行ってきました。羽田で機材の不調で4時間待ちになりましたが、同行の住友化学OBの社員さんがスーパーフライヤーズだったので、ラウンジでゆっくり過ごせました。長い時間でしたが、飲んだり食べたり、沢山のお世話係りの女性ともコミュニケーション出来て楽しかったです。今は、気温差で体調を崩すことなく無事に帰って来られてホッとしています。

石川豊…本日18:00よりグランフォーレにて第2回勉強会が開催されます。山田パストガバナーを講師にお迎えします。太田パストガバナーに

引きつづきたのしみです。山川研修委員長さん、よろしくお願ひします。

宇田…11/1女房の誕生日祝い、11/18結婚40年祝いを夫々頂き、ありがとうございます。次で、50年来念願しておりました、ヒマラヤ・エベレストを見てきました。改めてご報告します。

鈴木謙…Cテーブル、またまた全員出席です。

山川…今日は、勉強会があります。ご出席ありがとうございます。

大西宣…本日、SAA代行いたします。  
本日で11月最後の例会。師走は目前となりました。今年は寒いらしいです。体に気をつけて下さい。

## 卓話（会員選考委員会担当

篠原 正能 会員紹介)  
「ヒマラヤ・シャクナゲの仙境を訪ねて」  
藤原 勝壽 氏

## 近隣RCの例会日

- |                                 |
|---------------------------------|
| 12月7日(木)新居浜RC<br>(リーガ新居浜)       |
| 12月7日(木)観音寺RC<br>(観音寺商工会議所)     |
| 12月8日(金)伊予三島RC<br>(三島商工会館)      |
| 12月12日(火)観音寺東RC<br>(観音寺グランドホテル) |
| 12月12日(火)新居浜南RC<br>(リーガ新居浜)     |

## 例会プログラム

- |                           |
|---------------------------|
| 12月12日(火)<br>(国際奉仕委員会 担当) |
|---------------------------|